

別記様式（第5関係）

会 議 録

会議の名称	第3回西東京市都市計画審議会
開催日時	平成14年7月18日（木） 午前10時00分から正午まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎4階 第1委員会室
出席者	【委員】浅野委員、板倉委員、金子委員、蔵野委員、小金澤委員、後藤委員、小西委員、塩月委員、鈴木委員、砂押委員、高梨委員、中嶋委員、三上委員、宮崎委員、森下委員 （欠席）後藤委員、田崎委員、濱田委員、 【事務局】野口部長、斉藤課長、鴨下主幹、館岡係長、古厩主任、松本主任、加藤主事、増岡主事、内野主事
議題	1 西東京市まちづくり基本方針について（報告） 2 その他
会議資料	「西東京市まちづくり基本方針」、「都市計画区域変更・都市計画マスタープラン策定・用途変更等スケジュール（案）」、「西東京市計画体系図」
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録

発言者名	発言内容
中嶋会長	開会宣言。議事に先立ち、田井委員のご冥福をお祈り申し上げます。田井委員の死亡退任に伴い、新委員となった森下委員にご挨拶をお願いします。
森下委員	～挨拶～
中嶋会長	次に、田無警察署長の人事異動に伴い、新委員となった濱田委員にご挨拶をお願いします。
濱田委員	～挨拶（濱田委員欠席のため、代理人が挨拶）～
中嶋会長	次に、本日所用により欠席だが、東京都北多摩南部建設事務所長の人事異動に伴い、後藤委員が新委員となった事を報告する。 本日の議題に入る。「西東京市まちづくり基本方針について（報告）」を議題とする。事務局より説明願う。
館岡係長	「西東京市まちづくり基本方針」（以下「基本方針」と記述。）について説明
中嶋会長	委員の意見について伺いたい。
高梨委員	<ol style="list-style-type: none"> 1、「基本方針」は、田無、保谷2つのマスタープランを合わせたものか？ 2、保谷駅の位置付けが「生活拠点」となっている。保谷マスタープランでは、「商業拠点」となっているが、この変化の事情は？ 3、P.9の「機能転換」について考えられることは？ 4、P.12の「広域幹線道路」のモデルケースは？ 5、P.13に「踏切を少なくして」とあるが、現在どうなっているか？同ページに「ふたかけ河川については、緑道化を図る」とあるが、具体的には？ 6、P.28に「保谷3・2・6号調布保谷線については、新たな公共交通システム導入の検討を行う」とあるが確認したい。
斉藤課長	<ol style="list-style-type: none"> 1、そのとおりである。 2、西東京市全体で考えた場合、「生活拠点」が望ましいのではないかと考えた。 3、具体的なものは現段階ではない。考え方として示している。 4、環境施設帯については、東京都が深大寺周辺に3パターン設置しており、いつでもご覧いただける。 5、具体的なものは現段階ではない。考え方として示している。 6、「交通運輸審議会」で「LRT」ということで以前検討されたが、2000年の答申には入っていないと認識している。
高梨委員	「基本方針」という名称であれば既に固まったものと認識される。たたき台であれば「基本方針（案）」とした方がわかり易く親切ではないか。この案が当審議会に諮問されるのはいつ頃か？

発言者名	発言内容
斉藤課長	<p>来年の3月ごろ懇談会から案が上がる予定であるので、諮問は来年度4月ごろになる予定である。</p>
高梨委員	<p>全体構想の中で、環境問題や防災問題が記述されているが、環境基本条例との調整が必要になると思う。</p>
宮崎委員	<p>まちづくりの基本方針等でているが、これらに対する当審議会の役割についてよくわからない。今の西東京市はどんどん住宅地が建っていて良いまちづくりとは思えない。まちづくりの一番の根幹となるものと思うが、基本的にまちをどうするかについて見えてこない。案ということで、全体構想等の部分を当審議会で考えると思っていた。個別の内容に入れば、チェックしたいところはたくさんある。どういうまちにしたいかという部分を当審議会で考えなければいけないのではないか。</p>
斉藤課長	<p>個別具体的な事業については、3カ年の実施計画等で計画していく。都市計画マスタープランについては、20年という長期スパンで都市計画という分野でまちをどうするのかという視点で作成する。当審議会の役割としては、市民懇談会との位置付けの問題になると思うが、市民懇談会等を中心に市長が市民の意見を聴き市案としてまとめたものを審議会へ諮問する。結果的に最後の段階で諮問、答申という形になるが、今回は、今後このような形で案を策定するというスケジュール説明である。これから、市民の意見を聴いていく中で、修正意見等がでていくと思うが、それらをまとめた段階で、審議会に中間報告を行い、それに対する委員のご意見を伺い、集約していきたい。最終的に平成15年4月頃、諮問という形になると思う。</p>
宮崎委員	<p>この「基本方針」をこれから出します、という報告か。</p>
斉藤課長	<p>そのとおりである。「基本方針」は、かなり細かい内容等は省略している。例えば、基本理念のところでは、単純に合成することはできないため、事務局で考えられる5つの案を作成し叩き台としている。内容自体は2つのマスタープランを単純に要約したわけでもない。議論する部分はかなり残っている。今後、いろいろな意見を聴きながら検証していきたい。</p>
宮崎委員	<p>この場で検証しなくても良いと言うことか。</p>
斉藤課長	<p>市民懇談会である程度まとめた段階で、審議会のご意見を伺いたい。今回は、都市計画マスタープラン策定のプロセス説明である。</p>
森下委員	<p>全体スケジュールについて、どのようなものになるのか伺いたい。</p>
斉藤課長	<p>現在、大まかな案として作成している。後ほどお配りしたい。この案については、国や東京都と調整したのではなく、現時点で想定されるものであるため、変更はあり得る。</p>

発言者名	発言内容
宮崎委員	<p>緑に関して、旧保谷の都市計画図には緑地保全地区が設定されていたが、今回の「基本方針」の中には触れられていないのではないかと。市民懇談会に出すのであれば、緑地保全地区、地域の内容を説明した方が良さそう。みどりの保全の観点から見ると、非常に重要な制度である。p.18の地図の中に入っていないのではないかと。</p>
斉藤課長	<p>p.18の図には、緑地保全地区、地域は入っている。都市計画マスタープランの下位計画に「緑の基本計画」があるが、その中で個別具体的に検討していきたい。都市計画マスタープランの中では、大まかな考え方を示したい。懇談会の中では、市民の皆様が理解しやすい資料を提供したい。</p>
金子委員	<ol style="list-style-type: none"> 1、案や叩き台ということだが、市長決定は済んでいるのか。また、議会に対しては、報告や承認といった手続はされているのか。 2、p.3だけ(案)ということだが、5つの案の中から選択するのか、或いは、5つを含めて基本理念を検討するということか。 3、審議会に中間報告があるということだが、「報告」であれば質問は許されても意見の表明や修正要求は無いのが普通である。そのような趣旨でよろしいか。
斉藤課長	<ol style="list-style-type: none"> 1、都市計画マスタープランは、最終的に議会に報告するが、決定機関は当審議会である。「基本方針」については、あくまでも今後都市計画マスタープランを策定するうえでの叩き台であり、市長決定をするという性質のものではない。 2、p.3の(案)の考え方だが、当初は、事務局である程度絞る予定だった。2つのマスタープランの理念は近いが、表現方法が違うため、5つの案となった。どれか1つを選択するというものではない。市民懇談会での修正意見や、市民の皆様からの意見を反映させ作成したい。 3、様々な意見を聴きながら策定していく中での位置付けとして、審議会委員の意見も聴いていきたい。審議会委員の意見だけ優先されるということは無く、中間報告の中で出された意見については、それが修正可能か検討していきたい。
金子委員	<p>「報告」という議題の場合でも意見を表明してよろしいということか。</p>
斉藤課長	<p>どんどん意見を言っていただければありがたい。</p>
蔵野委員	<p>方針についてはわかったが、「基本方針」を見ると、内容がかなり絞られておりもったいない感じがする。テーマの統一等の議論もあるので、このような形で出すのも良いと思うが、保谷のマスタープランは、具体的に踏み込んだ内容・構想が書かれており、田無のマスタープランは、科学的なデータが重視されている、というように、2つのマスタープランは完成度の高いものであると考えている。市民懇談会や市民説明会を行うなかで、この点を踏まえ、新しいアイデアや意見を取り入れていく方針で取り組まれては如何か。</p>

発言者名	発言内容
蔵野委員	<p>LRTについては、保谷のマスタープランでは具体的に踏み込んだものが記載されている。先程の事務局の説明の中で、これが立消えになっているかのような説明がされたが、正しくないと思うのでご確認いただきたい。東京都では、6地域でLRT導入の研究・検討がされている。その中の1つとして調布保谷線も現在調査がされていると聞いている。立消えになったということは無いと認識している。東京都から正しい情報を収集し、懇談会、審議会等に説明したうえで議論を深めていただきたい。以上、要望を2点。</p>
中嶋会長	<p>21世紀の都市の時代に、まちのあり方、どうあるべきかという個性が求められるが、西東京市でできないものが1つだけある。それは、川である。この近くで一番近いのは、落合川、黒目川であるが、西東京市では、水の話は一番苦しいと思う。マスタープランとは別に、武蔵野台地の水をどう集めるかという方針を立てないと難しい。都市計画審議会は、色々な方が色々な意見を出し集約していく中で、大きく判断したり、審議する場だと思う。西東京市というグロスで見たときに、その周辺のまちの動きをよく見ないといけない。それぞれのまちの生活基盤が違う中で、なにが一番大切かということ、「地域の整序」である。計画を具体化していく中で、今まであちこちで行われているものだけでなく、これからの日本のまちのモデルとなるようなものを作っていきべきである。「基本方針」の中では、行間を読まなければならないような記述もあるが、5年、10年、15年という計画期間が目で見えてわかるような記述でお願いしたい。また、都市計画の最新情報、例えば、全国のニュース等を情報提供できるようなシステムを考えては如何か。</p>
砂押委員	<p>西東京市をどういうまちにするのかということで、都市計画マスタープランを作られると思うが、西東京市へ行ってみたくて全国から注目されるようなまちを目指すのが一番良いと思う。そのために何をすべきかということになる。昔は、人と人とのつながりがあったが、今の子ども達がそういうことを感じ取れない世界になってしまった。西東京市は人と人とのつながり、共同体意識を感じ取れるまちにしたい。そういう大目標を達成するための手段として、このような計画があると思う。</p>
斉藤課長	<p>私たちもそれを考えながら行っているが、都市計画行政の中で、そのような心象風景を作り上げるためには、どのような方法があるかを考えながら進めている。結果として現れるのは無味乾燥なものかもしれないが、その中でも表現方法等を工夫してみたい。</p> <p>それから、先程、森下委員から要望のあったスケジュールの関係資料をお配りする。それと併せて、市の各種計画の中での都市計画マスタープランの位置付けについて説明した資料もお配りする。</p>
中嶋委員	<p>その他、事務局より何かあるか。</p>
館岡係長	<p>ひばりが丘団地建替え事業に伴う「東村山都市計画、保谷都市計画及び田無都市計画一団地の住宅施設の変更案」他関連案については、平成14年5月29</p>

発言者名	発言内容
館岡係長 斉藤課長	日開催の第154回東京都都市計画審議会において、承認され、平成14年6月28日に変更告示された。 次回の審議会の日程は、平成14年10月頃を予定しており、会長、副会長と日程調整後、開催日が決まり次第早めにお知らせする。
中嶋会長	以上で、本日の日程は終了した。 条例第8条に規定する議事録については、要旨録の作成を事務局に指示する。これをもって西東京市都市計画審議会を閉会する。本日は、ありがとうございました。
	以上